

グループホームというのは？



A. 共同生活援助のことだね。



グループホーム、と呼ばれているのは、共同生活援助という[障害福祉サービス](#)のひとつなんだ。障がいのある人に対して、家事援助や日常生活での相談を受ける世話人と呼ばれる人がいるよ。

食事や入浴、トイレなどの介護支援を行う生活支援員などの職員もいて、日常生活上の援助や介護支援を受けながら、共同生活を送ることができるようになってきているんだ。

一住居あたりの定員は、2～10名の利用者、既存の建物を利用する場合は20名以下、又は30名以下となっているよ。

住居の形態はさまざまで、一軒家、マンションやアパート、公営団地などで、所有されている物件もあれば、賃貸の物件もあるんだ。

入所施設を小型化したものではなくて、一般的な家で一人ひとりにあった支援を受けながら、自分らしく自立した生活を送ることができる場、なんだね。

費用が気になるところだけれど、[生活介護](#)なんかと同様に所得に応じた[自己負担の上限月額](#)が必要だけど、各自治体で、独自の助成制度を行っていることもあるんだ。

他には一定の条件さえ満たせば、国から1万円の家賃補助を受けられることもあるよ。

そのほかに、家賃や食費、光熱費などの実費が必要になるね。

利用できるのは、身体に障害のある人、[知的に障害のある人](#)、[精神に障害のある人](#)、難病患者さんなどが対象となっているんだ。

原則としては18歳から(必要に応じて15歳以上)の方が利用できて、身体に障がいのある人の場合は65歳の前日までに障害福祉サービスやこれに準ずるものを利用した人、が対象になるんだよ。

グループホーム(共同生活援助)の形式は4種類あるんだ。

基本的に障がいの種別で区別はされないことになっているんだけど、事業所の方針や環境整備の関係上、入居できる障害の種別が決まっていることもあるんだよ。

障がいの種別や障害支援区分に合った施設を探す必要があるんだね。

介護サービス包括型、という形式があって、主に夜間における家事や生活相談などの、日常生活上の援助、食事や入浴、トイレなどの介護援助を職員さんが行ってくれるものだよ。

知的に障がいのある人が多く利用している傾向があって、障害支援区分2～4の人が特に利用している印象があるよ。

日中サービス支援型、という形式があって、施設ごとに昼夜1人以上の世話人または生活支援員が配置されていて、家事や日常生活の援助、食事、トイレなどの介護サービスを行ってくれるんだ。

知的に障がいのある、障害支援区分4以上の人の利用が多い傾向があるようだよ。

外部サービス利用型、という形式は、精神に障がいのある人で、障害支援区分は「区分なし」の人が多く利用している傾向があるよ。

主に夜間における日常生活上のサポートは施設の従業者が行うんだ

入浴や食事の援助といった介護サービスは委託された外部の居宅介護事業所によって提供されるタイプ、なんだね。

サテライト型、という形式は、他の入居者と交流できる共同生活住居(本体住居)を利用しながら、近くのアパートやマンションの一室(サテライト住居)で一人暮らしに近い形態で生活をするんだ。

本体となる共同生活住居のリビングやダイニングを利用して、食事や余暇の活動を行うよ。

従業員は定期的に巡回して、家事や日常生活上の援助、食事やトイレなどの介護を行うんだ。

サテライト型は、原則として2年の利用期間が設けられているよ。

将来的に一人暮らしをしたい、と思っている人が利用することが多いようだね。

そのために一般住宅への転居を視野に入れて、計画的な支援が行われるんだ。

評判がいいグループホームは、なかなか空きがない、という現状があって、空き待ち、ということも多いんだ。

そこで、相談支援事業所の[相談支援専門員](#)に相談しながら、自分に合うところを計画的に探していくことも必要になってくるよ。

病院でも施設でもなく、サポートを受けながら[住み慣れた場所](#)で生活したい、という人や、一人暮らしをしてみたいという自立した生活を求める人に向いているサービスなんだね。

[《MENU》](#)

[《就労継続支援A型・B型というのは？》](#)

[生活介護というのは？》](#)